

# 標茶高等学校の教育

## 令和4年度 スクールミッション、学校教育目標、スクールポリシー等

### 本校(総合学科)理念

ふるさとの風土や「いのち」をめぐる体験に学び、たくましく生きぬく力を身に付け、人や地域をつなぎ共に支え合い、社会の発展に資する人間を育てるため、幅広い選択科目等を設定し多様な自己実現を支える社会に関われた教育課程を編成し、異文化理解や地域文化、農業や環境等に関する体験的な学びを重視するとともに、知識の理解の質を高め、確かな学力の習得をねらいとした教育活動を推進する。

### スクールミッション

- 生徒・保護者・地域からのニーズを踏まえ、次のスクールミッションの実現を目指す。
- 1 関連する科目のまとまりである「系列」及び幅広い選択科目の学習を通じて、自立して生きていくために必要な能力や態度を身に付ける。
  - 2 地域の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒を育成する。
  - 3 探究的な深い学びを通じて、積極的に課題を発見し解決する能力を育み、自らの生き方・在り方を考えることのできる生徒を育成する。
  - 4 「いのち」の学習と協働体験的な実学を通じて、多様性を認め合い、相互理解による行動の選択ができる生徒を育成する。

### 学校教育目標

- 【探 究】 主体的で協働的な探究により、質の高い学力を身に付け、地域社会の発展に資する生徒の育成。
- 【飛 躍】 新たな時代において、不撓不屈の精神を以て自己実現を目指すことのできる生徒の育成。
- 【共 生】 「人」、「自然」、「食」等に関する実学を通して、生命を尊び、多様性を認め合い、豊かな人間性を持った生徒の育成。

### スクールポリシー

- 1 入学者の受け入れに関する方針 (Admission Policy)  
本校のスクールミッションと学校教育目標を理解し、積極的に自己の未来を追求すると共に、地域を支え、社会を創造していく意欲のある自立した生徒を求める。
- 2 教育課程の編成及び実施に関する方針 (Curriculum policy)
  - (1)「総合的な探究の時間」を教育課程の中核に位置づけ、教育活動全体で育成を目指す資質・能力を共有した上で、多様な学習を可能とする教育課程を編成する。
  - (2)系列の探究活動、各教科・科目指導において主体的・対話的で深い学びを実践すると共に、より実践的、専門的、協働的な学習となるよう、地域人材や関係機関との積極的な連携による関われた教育課程を実施する。
  - (3)基本的な知識・技能の習得の上に、学びに向かう主体性・人間性の涵養を図るべく、探究、体験、協働、ICT活用等の教育方法の工夫により、諸活動の質を高める。
- 3 育成を目指す資質・能力に関する方針 (Graduation Policy)  
本校のスクールミッションと学校教育目標を踏まえ、次の資質・能力の育成を目指す。
  - (1)【探 究】
    - ① 学びに向かう力  
学びの価値を認識し、計画的で質の高い学びをデザインするとともに、学びの発展を持続することができる資質と能力。
    - ② 課題を解決する力  
身近な課題を設定し、情報収集と分析、他者の価値観を共有し、自らも明確に発信することにより、自主的、創造的にその課題解決、あるいは軽減に向けて、取り進めることのできる資質と能力。
  - (2)【飛 躍】
    - ① 新たな時代を切り拓く力  
他者と協働しながら、主体的に物事に取り組むとともに、肯定思考と忍耐を持ち、自

己実現を目指すことができる資質と能力。

② 自己の進路を設計する力

心身ともに持続できる職業観を育み、自己理解を深め、自らの進路を考えるとともに、主体的・継続的にキャリアを形成することができる資質と能力。

(3) 【共生】

① ふるさとを愛する力

生活の基盤とする釧路圏域との触れ合いや他の地域文化を知ること、地域を一層理解し、ふるさとへの愛着と関わりを強く持つとともに、ふるさとの良さ広く情報発信することができる資質と能力。

② 自他を愛する力

生命を巡る望ましい道徳観と価値観を身につけるとともに、自他を尊びともに支え合うことができる人との関係を構築した生き方ができる資質と能力。

## 重点目標

---

- 1 【主体性】社会と連携した文化理解、地域環境、農業・食品に係る系列事業やキャリア教育の内容充実を図り、生徒の主体性を育成し、自己の在り方、生き方を考えることのできる能力を育む。
- 2 【学習指導】全ての教育活動において主体的・対話的で深い学びの視点からの学習を充実させると共に、ICTの活用による協働的又は個別最適化された学習指導を推進する。
- 3 【創造性と表現力】習得した様々な知識や技能を活用し、課題を解決する成功体験をとおして創造性を身に着けると共に、自身の取組を様々な手法を用いて他者に伝えることのできる表現力を身に付ける。
- 4 【地域創生】地域創生に資する高等学校として、地域社会と連携した教育活動の充実を図り、特色ある学校活動を広く発信する。
- 5 【新型コロナ対応】新型コロナウィルス感染症拡大防止策の徹底に努めると共に、ウィズコロナの観点から、諸活動の工夫と生徒の学力保証に努める。
- 6 【働き方改革】教職員が生徒と関わる時間を確保し、心身の健康を保つことができるよう働き方改革を推進する。

## 学校経営方針

---

- 1 本校の総合学科の理念を踏まえ、主体的で対話的な深い学びと多様な進路実現を保証する教育環境の整備に努める。
- 2 学校及び地域資源を活かし、社会との連携・協働による文化、自然環境、食を特色とした魅力ある社会に開かれた教育課程の運用に努める。
- 3 学校を軸とした地域（釧路圏域）づくりを実現する高校として、地域社会に評価され、特色ある北海道の高校として存在感を示す教育実践に努める。
- 4 共生社会の形成に向けて、支援を要する生徒のニーズに応じた指導の充実を図るとともに、家庭、地域、関係機関等による連携体制の整備を進める。
- 5 生徒や保護者、地域との共助による信頼関係を築き、人間関係や組織運営を円滑に進めるとともに、危機管理事案に適切に対応することで、信頼される学校づくりを推進する。

## 学校教育目標を実現のための方策

---

1 【探究】

- (1) ICTの活用やAL（アクティブ・ラーニング）等の授業方法の工夫により、主体的・対話的な深い学びや個別最適な学習機会を設定し、生徒が主体的に取り組める授業改善を進める。
- (2) 地域の課題を把握・分析し、その解決に向けて総合的な探究活動やプロジェクト学習を展開し、他者の価値観を共有しながら、主体性と創造性を涵養する。

2 【飛躍】

- (1) 教科・科目と産業社会と人間、総合的な探究の時間との横断的なかわり方を理解させ、自己実現の具現化を図ることができるよう、系統的なキャリア教育を実践する。
- (2) 各系列事業や特別活動にも積極的に参加し、成功体験から生徒が達成感や自己有用感を持つことができるよう、活動の意義や価値について考えさせる。

3 【共生】

- (1) 総合的な探究の時間や系列事業等で多くの社会人と関わりつつ、文化の理解、環境の保全、農食の探究等を通じ、生涯にわたって郷土を愛し、他者を思いやる心を持てるよう、地域での様々な体験的な実学的活動を奨励する。
- (2) 学校行事の内容的な充実を図り、協働的な学校生活と適切な人間関係の構築を図るとともに、生徒理解ツールの活用や教育相談、導入期指導などの充実により、自他の理解・尊重を促す。